

CADXIOとは

電子機器の設計／製造で使用されるCADデータの相互変換ソフトウェアです。DSII、DXF、Gerber (RS-274X)、ODB++間のフォーマット変換、STEP出力(3次元CAD)、画像データからCADデータを取り出すRaster／Vector処理などの用途に広く利用して頂けます。

推奨動作環境: Windows-10以降のOS、メモリ8GB以上

(*) CADXIOはGehriger Engineeringが開発するソフトウェアです。

主な機能

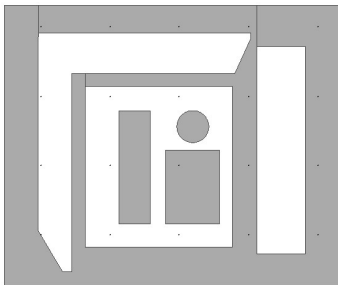
1. CADデータの相互変換

- (1) GDSII、DXF、Gerber、ODB++間の相互変換を行います。
- (2) DXFに頂点の閉じていないPolygonがあるとき、以下の何れかの処理で正常なPolygonに修復します。
 - ① エッジ先端が距離範囲(ユーザー指定)にあれば結合点を自動生成
 - ② エッジ先端間に新しいエッジを自動追加
 - ③ 形状がPathデータ(幅=0)で書かれている場合はPolygon図形に自動変換
- (3) Gerber読み込み時の塗り指定はG36/G37コマンドとハッチング記述をサポートします。Gerber出力の塗り指定はG36/G37対応です。
- (4) 画面操作でフォーマット変換する操作(Interactiveモード)と、Scriptでフォーマット変換する処理(Batchモード)が可能です。
- (5) 標準フォーマットはASCII(GDS-TXT)です。書式はGDSIIIに準拠します。CADXIOをCADプログラムから起動してカスタム的に使用する場合などに利用できます。

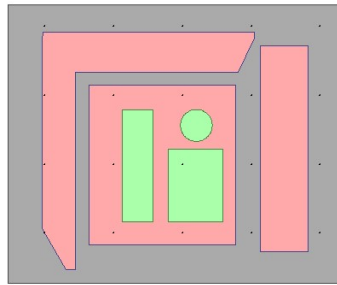
2. 図形間のBoolean処理

- (1) AND、OR、MINUS、XORにより図形間の演算ができます。
- (2) 穴構造は、一筆書き、入れ子、スライスのいずれかに変換できます。

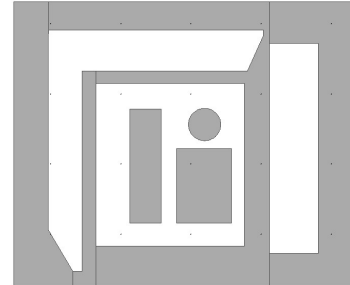
(一筆書き)



(入れ子)



(スライス)



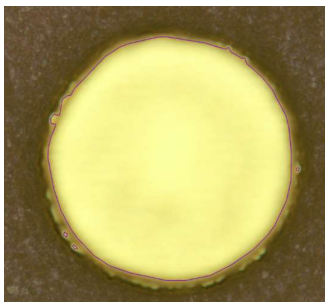
3. STEP出力 (STEP AP203、AP214ISに対応)

- (1) GDSII、DXF、GerberからSTEPデータを作成します。各層の厚み、Z方向の高さは画面から指定します。
- (2) ODB++からSTEPデータを作成する場合は、各層の厚み、Z方向の高さはODB++から読み取ります。勿論、画面から各層の厚み、Z方向の高さを指定することもできます。

4. 画像処理 (形状はCADデータで出力)

- (1) Binary、Gray-Scale画像から形状を抽出します。閾値は自動計算しますが、指定することもできます。
- (2) プリント基板等の製造結果を撮影した画像から、トップ面とボトム面の形状を個別に抽出できます。

(Top形状)



(顕微鏡画像)



(Bottom形状)

